元の此可其今日我國之取法也、競我國學來國什奇州で 。まお神傳自即は。及後改良之則為商業界之一種新紀 以實業論、無有他種先於絲果心以絲樂論で又無有他種 目の非即合群教群力而展験實業。不能収其補教之功の 兵作品が、古山市社ど 心。故西南普維風氣。多勝中國絲織物。高抬其價格。 肝子動動物。以前流動機物論。又無有他國多子今日之 ·其身体之嗜欲爲何如×夬衣展so亦爲身体暗欲之一種 西教の書記しる でと調子組織機構公司の果能整理改良の精益求精の主 《自法制的oo个在默默中oo又多來自日本oc語日本絲繅 流之祖數00時必萬倍于從前00查美國向來之絲紬10多 各大城市·着鄉以唐書oc和以安色oc加以被饰oc則其 上文種種學由命教倫施當學先恐後的報認股份。協助 和仙典加于美国公必將駕平日本而上之いの此情胞所含 別利の大山を関今日之苦臨林戦物で尚龍流行于美 It's Come From China」之一首《彼則生艷羨之 **高男女者少の皆意視我國之林敬物の一出「此乃來自** での苦人故服成則是国之社会の北美事之風智爲何如 阿州で養食美國人學美衣服之用の夫日本之有此製 實得自我國oo為國人所共見共聞oo然則如麥君所倡 温盤起於律符。 特有破量之

の物は 昨日論說首行(日本)二字倒排

此大公司。《則學者之志順問可顧》。而認股者之利益亦均 がで大川君子関案人事ンo小川益于工商組体から世可秘平

君以金銭勢力のの母相変君之實業時機の使其早日耕成

致公堂籌辦處黃三德上加屬

以上各条。畧舉辦實業中先從鄉礦務之大概中重教育一 (一)晋黨同志 >多而且衆 > 其中未受教育者 > 0 十居八 即由鑛務生產 今又舉教育在所必設。其梗概如左。 八〇〇無可諱書のお不な此時後の擇其年少英敬者の 致公准書

一)散教育《匪特栽培年少英敏之常人。即本堂同志 一)既明晋第人多且乘《又明人才寥寥無幾云則當培 即亡。則党亦當如是觀也の 育人才。·以維持本業固矣。。·児今日之潮流。·職無才 而培育成何00過此以往00不堪間矣00

一)教育發達人才充足公姑勿論爲國爲党《自能措施 之子者侄。亦由此栽培成材。中篇圖爲民。而維持 本業傳轄于萬世也20

1)若不當此時接繼繼辦教育00過此以往0~老者老矣 oo以鼓励國民保國保禮足臭×此教育在所應股臭× 00人少百歲事 2後起者雖有賢材00而亦不得知本堂 之秘密道德。《歸無人接觸傳後》、祇須記錄先烈事蹟 加粛>o萬事皆鑑、固不待智者而後知其然也oo 出於何來oo曹雖口授相傳oo今日復國目的已建oc前 克武雖表示歐四 布減黔東·樓周道剛電告·滇軍近已由瀘州而趨重更·· 熊 劉存厚近來態度又大變 已與滇軍行成。西陽彭水一帶 尚有種種来及周備之處

然熊究屬南系

修不可信

周道剛孤

語君以爲然否。

(水坑)



个朝九點三十分鐘接贴香

推助員專電云

馮総統日

職 未願就職 學層鄉

故粤

重)(要)(電)(報

▲臨時参議院遲遲發表之原因

●府院間之掌權問題

雌陽馬鎮靜 然實不免有驚恐之象 徐樹鉀曲同豐諸人。 分車隊 敢於對抗中央 其背後實得有柱事之與援之表面 就其所以遲遲不發表者。並非為陸氏之來電 臨時參議院之赞同 其態度尚未明白表示 如使陸氏果有 於發表臨時參議院召集後宣布 機聞其理由 上海通信云。昨有歸自北京之某要人。健所談近日政局之 永州 已可概見 惟政府之欲召集臨岭拳牆院。本已於兩 主張即行明令討伐、而過化龍樂啓超 則以此項命令。。宜 情形如下c政府自得永州宣布獨立之耗、知劉建藩以一部 星期前决定。無論唐陸之同意與否,斷不因此而有附記 **賀同之意 則永州之變 不難斷定: 若始終反對。其爲搜助** 第一吳光新軍隊 尚未入川。而 實因軍事上 陸榮延對於

ののの北京政局之内幕 章州鐵道

清隆州六只出引出 野戏戏 **类类 髓髓**

第十を

14

を開発を開発しませた。 を開発した。 を開発した。 を開発した。 を開発した。 を開発した。 を開発した。 を開発した。 を関係した。 を開発した。 を対する。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがる。 をが。 をがる。 をがる。 をがる。 をがる。 をがる。 をがる。 をがる。 をがる。 をが。 整确里特例大母课代内氏之间,则补助此目得與父母李素相義曾先生老輩曾權者依他的健安年权思之父前作學條下大康每動思想。2008是三月聖皇機构造义參出四邊補實之份。科學檢別之精神机為肌肉光是或精學之用收体大赦 建作人工输来前摘者失国口人 兀忽亚征来极事性及视鬼 **建建于世代以来明明而已**

建于整理毛芹收益槽兰毛恰牌水并方毛。 建铁煤果丸超量四毛、每两壁光明毛 建铁煤果丸超量四毛、每两壁光明毛 上坡铁器,有一种水形,一种水形。

非政士を見る人が今と他を発生行る

李波問他風濕中庙花柳風

在国民的主义的复数人的人的